

記載例③ 住宅リフォームの方

様式第1号（第5条関係）

※赤文字の部分を記入してください

令和6年1月15日

根室市結婚新生活支援事業補助金交付申請書

根室市長 様

根室市結婚新生活支援事業補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて次のとおり申請します。

申請者	氏名	夫) <b>根室 太郎</b>	妻) <b>根室 花子</b>
	住所	夫) <b>根室市常盤町2丁目27番地</b>	妻) <b>同左</b>
	電話番号	<b>0153-23-6111</b>	
生年月日		夫) <b>平成7年11月22日</b>	妻) <b>平成10年11月22日</b>
婚姻日		<b>令和5年 5月 1日</b>	
勤務先の家賃補助		<input type="checkbox"/> 受けている <input checked="" type="checkbox"/> 受けていない	
住宅費用 (購入)	契約年月日	年 月 日	
	契約金額 (A)	円	
住宅費用 (リフォーム)	契約年月日	<b>令和5年 5月 25日</b>	
	費用 (B)	<b>1,000,000円</b>	
費用 (貸)	契約年月日	年 月 日	
	家賃負担額	(家賃 月額 _____円 - 勤務先の家賃補助(住宅手当) 月額 _____円) × 支払済家賃 _____ヵ月 ( _____年 _____月 ~ _____年 _____月 ) = _____円	
		敷金	円
		礼金	円
		共益費	円
	仲介手数料	円	
	小計 (C)	円	
引越費用	引っ越し日	<b>令和5年12月 1日</b>	
	費用 (D)	<b>100,000円</b>	
費用内訳① 合計 (E) = (A) + (B) + (C) + (D)			<b>20,100,000円</b>
補助金申請額①・・・ (ア)			<b>600,000円</b>
※(E)と30万円を比較し、少ない額を記入。ただし、婚姻日に夫婦ともに29歳以下の場合は(E)と60万円を比較し、少ない額を記入。			(1,000円未満の端数を切り捨て)

リフォームの方

引越の方

30~39歳の方がいる場合は  
上限額は30万円となります

(裏面あり)

複数回購入した場合は、直近の支払年月日を  
また、費用は合算した額を記入してください

準備費用	支払年月日	令和5年12月5日
	費用(F)	420,000円
費用内訳② (F)		420,000円
補助金申請額②・・・(イ)		400,000円
※(F)と40万円を比較し、少ない額を記入。		(1,000円未満の端数を切り捨て)
補助金申請額 (ア) + (イ)	30~39歳の方がいる場合は 上限額は70万円となります	1,000,000円
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 婚姻を証明する書類（婚姻届受理証明書又は戸籍謄本） <input checked="" type="checkbox"/> 夫婦の住民票 <input checked="" type="checkbox"/> 夫婦それぞれの所得証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 夫婦それぞれの納税証明書（市税に未納がないことが分かる書類） <input type="checkbox"/> 物件の売買契約書、工事請負契約書及び領収書の写し（住宅費における購入の場合） <input checked="" type="checkbox"/> 物件のリフォーム工事請負契約書及び領収書の写し（住宅リフォームの場合） <input type="checkbox"/> 物件の賃貸借契約書及び領収書（住宅費における賃貸借の場合） <input checked="" type="checkbox"/> 引越費用に係る書類（領収書の写し） <input checked="" type="checkbox"/> 準備費用に係る書類（領収書の写し） <input checked="" type="checkbox"/> 住宅手当支給証明書（様式第2号）（住宅費における賃貸借の場合） <input type="checkbox"/> 貸与型奨学金の返還額がわかる書類（当該奨学金の貸与を受けている場合） <input checked="" type="checkbox"/> 誓約書兼同意書（様式第3号） <input type="checkbox"/> その他（ ）	

提出する書類にチェックしてください